





古 隸

開通褒斜道刻石



褒斜道

陝西省眉県から秦嶺山脈を越えて漢中へ至る山道で古来より蜀へ通じる要所とされてきた。この褒斜道の南端には石門といわれるトンネルがある。石門には褒斜道の修理開通事業を記念した碑が摩崖刻という形である

開通褒斜道刻石

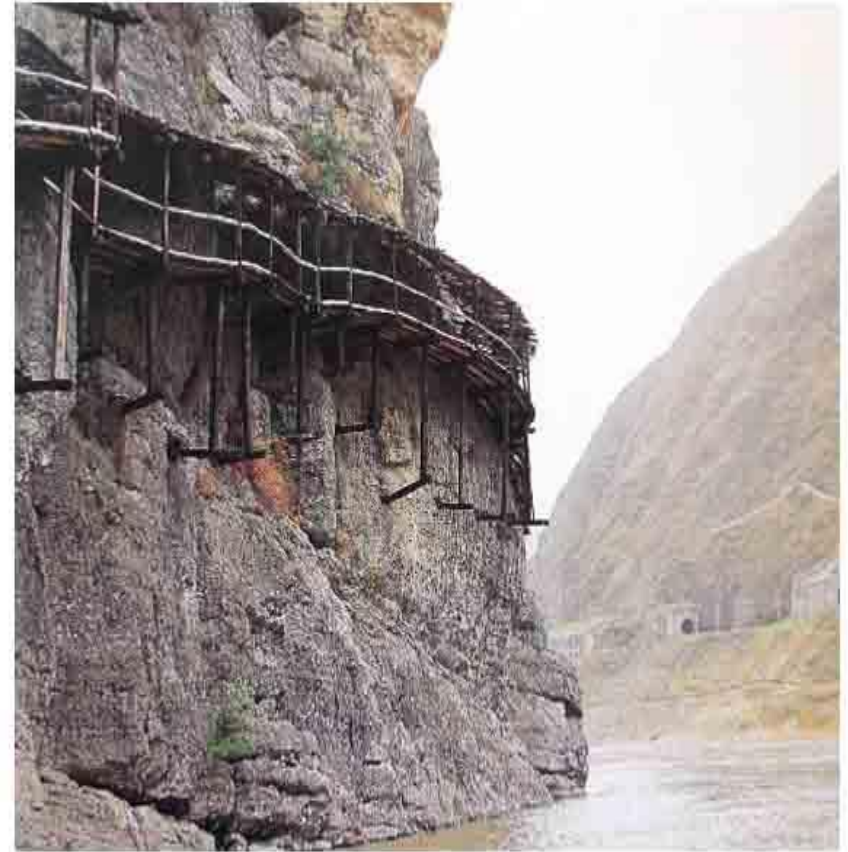
後漢 永平九年(66年)刻

漢中の太守で鉅鹿の鄙君が
蜀郡・巴郡の人夫2690人動
員して褒から斜へ通じる道を
開通した功績を称えたもの

道 棧

山の崖の中腹に、
棚のように設けら
れた道

何度か修理され、
開通褒斜道刻石は
その開鑿に関する
最も古い刻石



その他褒斜道の修理開通事業を 記念した摩崖碑

- 石門頌
- 楊淮表記
- 石門銘



漢中博物館

